

Kin-yo Keizai



リチウムイオン電池 関西で後押し

【大阪府】大阪府は、リチウムイオン電池の普及を促進するため、関西圏で後押しする。府は、リチウムイオン電池の普及を促進するため、関西圏で後押しする。府は、リチウムイオン電池の普及を促進するため、関西圏で後押しする。

【大阪府】大阪府は、リチウムイオン電池の普及を促進するため、関西圏で後押しする。府は、リチウムイオン電池の普及を促進するため、関西圏で後押しする。府は、リチウムイオン電池の普及を促進するため、関西圏で後押しする。

軽減税率文化に影響

【大阪府】大阪府は、軽減税率文化に影響を及ぼす。府は、軽減税率文化に影響を及ぼす。府は、軽減税率文化に影響を及ぼす。

【大阪府】大阪府は、軽減税率文化に影響を及ぼす。府は、軽減税率文化に影響を及ぼす。府は、軽減税率文化に影響を及ぼす。

加熱式でもたばこ本来の味わいを。この価格で。¥460円

※詳しくはdiscover.glo.jp

中古PCで環境貢献

最前線

回収から卸売りまで

プロードリンク 榎彰一社長

【大阪府】大阪府は、中古PCで環境貢献を促進する。最前線。回収から卸売りまで。プロードリンク 榎彰一社長。

加熱式でもたばこ本来の味わいを。この価格で。¥460円

※詳しくはdiscover.glo.jp

文料書調査

【大阪府】大阪府は、文料書調査を実施する。調査結果は、文料書調査を実施する。調査結果は、文料書調査を実施する。

Wan ミニチュア・シナウザー

無料送達

庭木の手入れ

新毎聞日

10月18日(金)

NEWSLINE

to TOKYO 2020

312

5種マラソン札幌へ、3歳ア2生春に在るは 30

Newsがわかる 気候変動の時代を生きる

望星 11月号

このお読みで! スポーツ絵本

世界的な環境保護意識の高まりや、インターネット通販サイトの利用拡大を背景に注目が高まっている中古品市場。関西発祥のブロードリンクはパソコン（PC）の高度なデータ消去技術で信頼を集め、現在は大手企業など約1万社から年間100万台の中古PCを回収し、卸売り販売をしている。榊彰一社長（48）にビジネスに込める思いや展望を聞いた。

【杉山雄飛 写真も】

インタビュ

最前線

中古PCで環境貢献

——どのような事業をされているのですか。

◆大手企業やリース会社、中央官庁などから業務で使い終えたPCを購入し、中古販売会社に卸売りをしています。その際、PC内の情報が漏えいしないよう、セキュリティ対策を万全にしています。データ消去には米国防総省などが採用しているソフトウェアを使い、PCを保管するテクニカルセンターには入室の認証システムや24時間監視カメラも設けています。

——中古PCの業務を始めたきっかけは？

◆もともとPCのシステム開

回収から卸売りまで

発会社としてスタートしたのですが、長期に及ぶ開発期間が負担となり、中小企業にオフィス機器を導入する業務にシフトしました。その中で、リースでのPC導入を希望する中小企業が、リース会社の審査に通らないケースが出てきました。「それなら中古PCを手配して」と要望され、中古品を扱うようになったのがきっかけです。

——中古PCを買い取って販売するビジネスモデルを確立しました。

◆中古PCを個人向けに販売する事業に力を入れ、全国各地のスーパーマーケットで備販売を始めました。しかし、当初

ブロードリンク

榊彰一社長



さかき・しょういち 1971年1月生まれ。大阪府出身。神戸大農学部を卒業後、朝日生命で法人営業などに携わる。2000年3月に脱サラしてブロードリンクの前身会社を設立した。

は数十万円だったPCの単価が、じり貧になっていきました。それとともにながって、利益がこぞ「もっと安く中古PCを買

社名	株式会社ブロードリンク
本社所在地	東京都中央区日本橋室町4の3の18
設立	2000年3月8日
資本金	2億6643万7500円
売上高	60億1000万円 (2018年度連結予定)
従業員数	約250人

える方法はないか」と模索し、問屋を通さずに大手リース会社から直接買い取るモデルにたどり着きました。リース会社や大手企業、官庁からは同じ種類のPCが数千台単位で入ってくるので、個人への販売から中古販売会社にPCを卸す事業へと切り替えていったのです。

◆まずは売上高1000億円を目指します。そもそも中古品業界は、社会的にマイナスのイメージがついていますが、環境に優しい仕事です。国連の掲げる「SDGs（持続可能な開発目標）」をはじめ、ビジネスだけでなく社会貢献の側面でも存在意義を見いだしていきたいです。

◆今は「ブル内にある人間以外のもの」は全て買い取る言っています。値段がつかない物は自社の処分場で鉄材や木くずなどの「資源」に戻して再販しています。弊社は、世の中の全ての物を生かしていきたいです。

市場規模減少でも購入者増

環境省の報告書によると、2018年度の中古品の市場規模は約3兆2500億円となり、12年度から1500億円増加した。インターネット通販サイトの普及などが背景にあるという。一方で、「中古パソコン・周辺機器」の市場規模は18年度で8500億円となり、12年度（9833億円）から15%減少した。ただ、購入者数は25万人増の約470万人となっており、安価な製品を入手する顧客が増えているとみられる。